

4. エコツーリズムフォーラム

第4回エコツーリズムフォーラム2015

～瀬戸内海からの発信！地域創生におけるエコツーリズムの役割～



4. エコツーリズムフォーラム

第4回 エコツーリズムフォーラム2015

Ecotourism Forum fourth 2015

～瀬戸内海からの発信！活力ある島々の再生に向けて～

瀬戸内海におけるエコツーリズムの価値と 地域創生に果たす役割

開催日：2015年 1月 31日(土)

13:00-17:00 (開場12:30)

会場：ホテルチューリッヒ東方2001 (広島市東区光町2丁目7-31)

定員：100名 (事前申し込み制)

参加費：無料 (資料代1,000円/希望の方のみ申し受けます。)

<プログラム>

■ 第1部 「瀬戸内海地域の創生に向けた取り組み」

活動報告

「平成26年度 瀬戸内ツーリズム推進協議会活動報告」

上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長(広島工業大学教授)

基調講演

「我が国におけるエコツーリズムの推進について」

中尾 文子 環境省自然環境局総務課 自然ふれあい推進室長

■ 第2部 パネルディスカッション

「地域創生にエコツーリズムが果たす価値と役割」

コーディネーター 上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長(広島工業大学教授)

パネリスト 中尾 文子 環境省自然環境局総務課 自然ふれあい推進室長

江崎 貴久 鳥羽市エコツーリズム協議会 会長

池上 弘一 廿日市市環境産業部観光課 主幹

岩崎 誠 株式会社中国新聞社 輪読委員

閉会挨拶 森永 智絵 広島県商工労働局 フラウド推進部長

※プログラムは変更する場合がございます。

主催：瀬戸内ツーリズム推進協議会(構成：広島県、呉市、廿日市市、一般社団法人 瀬戸内海エコツーリズム協議会)
後援：環境省中国四国地方環境事務所、EPOちゅうごく(環境省中国環境パートナーシップオフィス)、中国経済連合会、
NPO法人 日本エコツーリズム協会、一般社団法人 日本旅行業協会、株式会社 中国新聞社、
学校法人 観音園広島工業大学、学校法人 ひらた学園IWAD環境福祉専門学校
協力：NPO法人 自然環境ネットワークSAREN、NPO法人 自然と釣りのネットワーク、ひろでん中国新聞旅行株式会社
日本ミクニヤ株式会社、総合技研株式会社

※フォーラム終了後、交流会を開催いたします！(場所：ホテルチューリッヒ東方2001)

是非、ご参加ください！(17:30-19:00 参加費3,000円)

※会場までのアクセス、お申込方法、お問合せは裏面をご覧ください。

※このフォーラムは、環境省平成26年度エコツーリズム地域活性化支援事業の一環として、運営しております。

日時：平成27年1月31日

13:00～16:30

場所：ホテルチューリッヒ東方

2001

参加費：無料

参加人数：約80名 (関係者含む)



4. エコツーリズムフォーラム

主催

瀬戸内ツーリズム推進協議会

構成：広島県・呉市・廿日市市・（一社）瀬戸内海エコツーリズム協議会

後援

環境省中国四国地方環境事務所／EPOちゅうごく（環境省中国環境パートナーシップオフィス）／中国経済連合会／NPO法人日本エコツーリズム協会／一般社団法人日本旅行業協会／中国新聞社／学校法人鶴学園広島工業大学／学校法人ひらた学園 I W A D 環境福祉専門学校

協力

NPO法人自然環境ネットワークSAREN／NPO法人自然と釣りのネットワーク／日本ミクニヤ株式会社／総合技研株式会社／ひろでん中国新聞旅行株式会社／



4. エコツーリズムフォーラム

瀬戸内海の自然・文化・歴史... 守り、育むエコツーリズム

本協議会は、「瀬戸内海の生態系景観を見つめ、自然と文化を探り、多様な自然を守る」ことを理念として、エコツアーの構築・実践を行うことで、自然環境の保全・人材の育成・地域振興・新たな観光ビジネスの創生を目指しています。

この度、活動が認められ、第10回エコツーリズム大賞特別賞を頂くこととなり、励みとなっております。

さて、平成26年11月、地方創生に関連する法案が可決され、平成27年度は様々な施策が展開されようとしています。そんな中、瀬戸内海の島嶼部は急激な人口減少・超高齢化に陥り、無人島化が進んでいます。

一方、瀬戸内海では、昨年、「瀬戸内海国立公園指定80周年」や「瀬戸内しまのわ2014」などのイベントが、沿岸域自治体の地域資源を元に開催されました。しかし、今後の継続性と経済的な活性化には、更なる施策と活動が必要です。

そこで、第4回エコツーリズムフォーラムでは、瀬戸内海の環境資源と歴史文化を活用し、継承していく「瀬戸内海エコツーリズム」のあり方と今後の戦略について議論し、エコツーリズム活動が「地域創生」へどの様に貢献できるか、その役割について考えていきたいと思っております。本フォーラムが瀬戸内海におけるインタープリアーの育成や、エコツーリズムネットワークの拡大に繋がることが願っています。



Program

13:00

13:10

13:10

14:30

14:45

16:45

16:45

16:55

17:00

17:30

19:00

■オープニング

開会挨拶 上嶋英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長(広島工業大学教授)

■第1部 「瀬戸内海地域の創生に向けた取り組み」

活動報告
「平成26年度 瀬戸内ツーリズム推進協議会活動報告」
上嶋英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長(広島工業大学教授)

基調講演
「我が国におけるエコツーリズムの推進について」
中尾文子 環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室長

■第2部 パネルディスカッション 「地域創生にエコツーリズムが果たす価値と役割」

コーディネーター 上嶋英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長(広島工業大学教授)
パネリスト
中尾文子 環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室長
江崎貴久 鳥羽市エコツーリズム協議会 会長
池上弘一 甘日市市環境産業部 観光課 主幹
岩崎誠 株式会社中国新聞社 論説委員

■クローゼィング

閉会挨拶 森永智絵 広島県商工労働局ブランド推進部長

■記念撮影

■交流会

(注:フォーラム終了後、交流会を開催いたします! (場所:ホテルチューリック東方2001) 是非、ご参加ください! (参加費3,000円))

Profile



中尾 文子 Nakao Fumiko 環境省自然環境局自然ふれあい推進室長
1966年、愛知県生まれ。2013年から現職。現職(当時)中部山岳国立公園管理事務所を皮切りに、国立公園、野生動物の保護管理、自然再生等の自然保護行政に携わったほか、生物多様性条約の資金メカニズムである地球環境ファシリテイにおいて途上国支援、国連大学においてSATOYAMAイニシアティブの発足等を行う。現職ではエコツーリズムのほか、自然とのふれあいの推進に取り組んでいる。これまでの職務を通じて地域振興と自然環境は守られないことを実感している。二児の母、趣味は山歩き。



江崎 貴久 Ezaki Kiku 鳥羽市エコツーリズム協議会 会長
京都外国語大学を卒業後、東京に就職後、地元に戻り1997年、有限会社菊乃設立、代表取締役就任。観光業のあるべき姿を見直し、地産地消を基本に旅動海月の経営を開始。
2001年、(有)オズを設立。祖島をフィールドに自然や生活文化を通して環境と観光、教育と環境を一体化させたエコツアー「海島遊民くらぶ」を展開。現在、観光や環境に関する行政委員や、地元の鳥羽市エコツーリズム推進協議会会長を務め、次世代のリーダー・人材育成・地域全体での資源活用のあり方を研究しながら実践するとともに、各地の地域の活性化に取り組んでいる。



池上 弘一 Ikegami Koichi 甘日市市環境産業部観光課 主幹
1969年広島県生まれ。1988年広島県採用。2013年4月から現職(県からの派遣)。広島県では主に工労働部門を担当。甘日市市では観光振興基本計画の立案などを担当し、2015年1月に策定を完了した。宮島においては今後、自然を活かしたアクティビティとリラクゼーションが充実させるべき要素であると記述した。趣味としてウルトラマラソンやトライアスロンなど、長い時間自然と向き合うスポーツに取り組んでいる。



岩崎 誠 Iwasaki Makoto 株式会社中国新聞社 論説委員
1964年大阪市生まれ。ルーツは大崎上島。京都大学文学部卒。1993年に中国新聞社入社。興支社、報道部、文化部、西広島支局長、報道部デスクを経て2009年から論説委員。社説「コラム」天風録を執筆している。宮島をはじめとする歴史文化財、瀬戸内海の諸問題などが主な取材テーマ。1997年からの海砂採取反対キャンペーンにも加わる。中央環境審議会の専門委員として国の瀬戸内海環境保全基本計画の改定にも携わった。



上嶋 英機 Ueshima Hideki 瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長
1944年、福井県敦賀市生まれ。工学博士。1972年、通商産業省工業技術院の国立研究所に入所(現・産業技術総合研究所)以来、瀬戸内海の環境研究に従事。2005年より広島工業大学大学院教授にて現職。2010年、「一般社団法人瀬戸内海エコツーリズム協議会」理事長に就任。2011年、「瀬戸内ツーリズム推進協議会」会長に就任。所属団体に、「一般社団法人大阪湾環境再生研究・国際人材育成コンソーシアム・コア」理事長、「宮島ラール条約連絡協議会」会長など。

【瀬戸内ツーリズム推進協議会の活動】

- 瀬戸内海国立公園における「瀬戸内海エコツーリズム」の構築事業
事業化の促進を図るため、エコツアーの本格的実施を行っています。
・宮島エコツアー(外国人旅行者向け・国内旅行者向け)
・安芸灘諸島エコツアー
・防予諸島エコツアー
- エコツーリズムのための人材育成事業
人材の養成研修「エコ塾」の充実を図るため、養成研修の実践的運用をおこなっています。
- エコツーリズムのためのインフラ整備計画事業
エコツーリズムのためのインフラ整備について、検討・提案を行っています。
・エコツーリズムビジターセンターの機能提案
・未利用施設の活用による地域振興策の提案
・ネットワークの構築のためのインフラ整備提案
- エコツーリズム・フォーラムの開催
- エコツーリズム推進全体構想の申請に向けた取り組み



当日配布のパンフレット

4. エコツーリズムフォーラム

第1部 「瀬戸内海地域の創生に向けた取り組み」



「平成26年度 瀬戸内ツーリズム 推進協議会活動報告」

上嶋 英機 瀬戸内ツーリズム推進協議会会長



「我が国におけるエコツーリズムの推進について」

中尾 文子 環境省 自然環境局総務課 自然ふれあい推進室長



4. エコツーリズムフォーラム

第2部「パネルディスカッション」

「地域創生にエコツーリズムが果たす価値と役割」

コーディネーター
パネラー

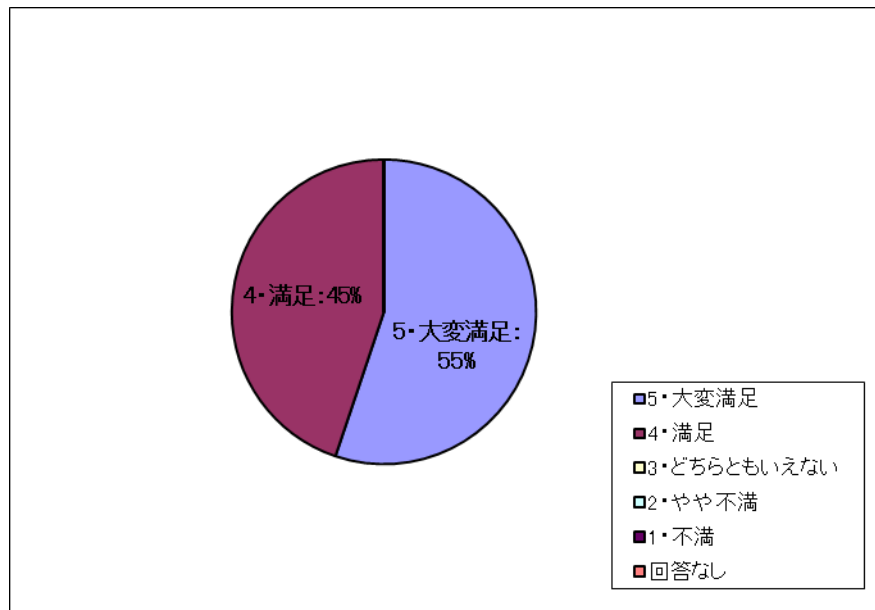
上嶋 英機（瀬戸内ツーリズム推進協議会 会長）
中尾 文子（環境省 自然環境局総務課 自然ふれあい推進室長）
江崎 貴久（鳥羽市エコツーリズム協議会 会長）
池上 弘一（廿日市市 環境産業部 観光課 主幹）
岩崎 誠（株式会社 中国新聞社 論説委員）



4. エコツアーリズムフォーラム

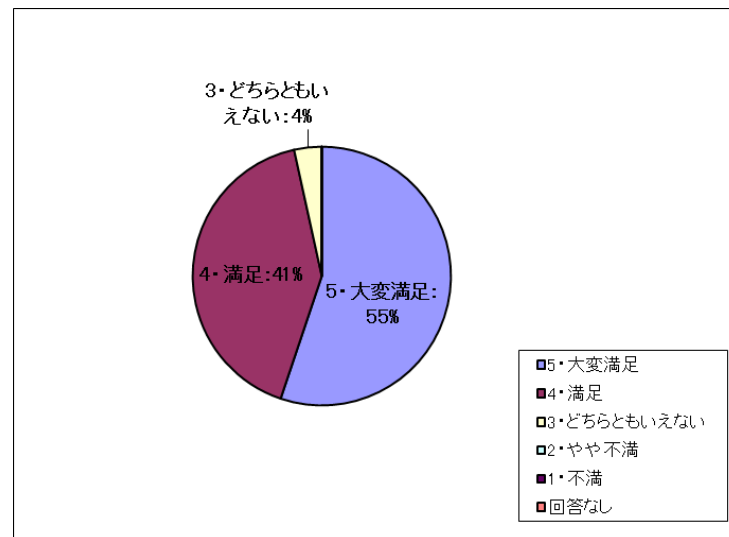
参加者の声 (アンケート回答数: 38)

総合評価

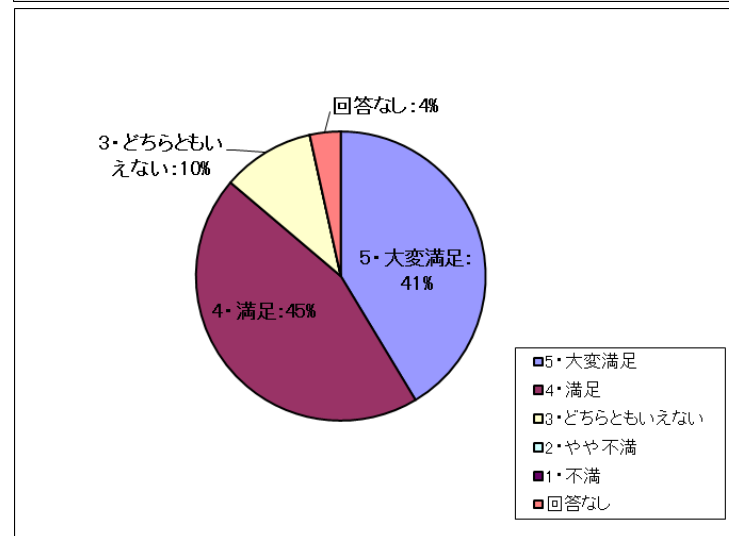


アンケートに答えて頂いた全員に満足頂いた。

第1部



第2部



4. エコツーリズムフォーラム

参加者の声 (アンケートの回答より抜粋)

良かった点

- 行政側、活動者側とオブザーバー的な立場の方がそれぞれいらっしゃってよかった。
- 環境省より「エコツーリズムガイド推進アドバイザー」の養成の助成金を知ったこと。
- 様々な組織に所属する人の話がバランス良く聞くことができた。
- 前向きなパネリストや会場のご意見が多く、感動した。興味深いアドバイスや考え方を伺えた。
- エコツーリズムのことは知っていたが、詳しく話を聞いたことがなかったの
で、最先端の話が聞くことができて良かった

改善してほしい点

- 登壇者と参加者とのコミュニケーションの時間がほしかった（質疑応答）。
- ディスカッションの時間を多くしてほしい。
- ツーリズムの観点からすれば、どのような効果があったかを数値化したものをもっと提示すべき。だが、個人的にはそのような視点は後からついてくるものとしんじているので、できれば、「エコ」という観点を取り入れてほしい。

4. エコツーリズムフォーラム

参加者の声 (アンケートの回答より抜粋)

その他

- フォーラム開催の情報を広島県、呉市、廿日市市のホームページなどで公表されれば、個人的に事前に知りやすい。
- 資格制度や指導者育成講義等、検討頂きたい。
- 行政の担当として、江崎先生の「行政の担当が変わってしまっても良い。エコツーリズムの良さを理解した方が他の部署であってもその良さを伝えてほしい」と言って下さったことがとても嬉しく感じた。
- 上嶋先生から、終わりに観光庁についてコメントが出たことも有り、ぜひ来年は観光庁のゲストを呼んでほしい。
- パネリストの方々の話がリアルでとても良かった。参考になった。
- どの分野でも言えることだが、人材、これが一番の問題と再認識した。
- 次回も参加したい。

